

工事名) 磐越自動車道 黒森山トンネル工事

修正箇所

正誤区分

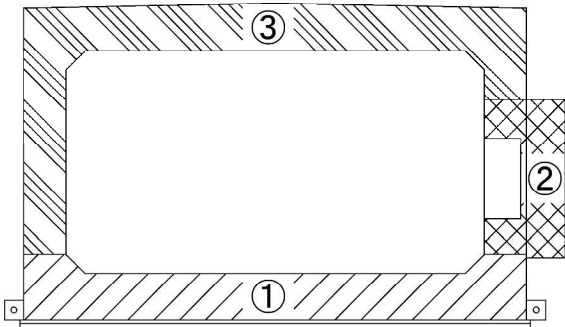
設計図 (函渠エ(スノーシエツド)編) 1/217 スノーシエツド数量総括表

誤

スノーシエツド数量総括表

Table with columns for stationing (e.g., 191.9, 350.8), snow shed types (e.g., 191.9, 350.8), and quantities. Includes a summary row at the bottom.

打設回数概念図



※は本型枠で打設を行う。 ②の設後移動型枠工を設置し残りの側壁、頂面を打設する。

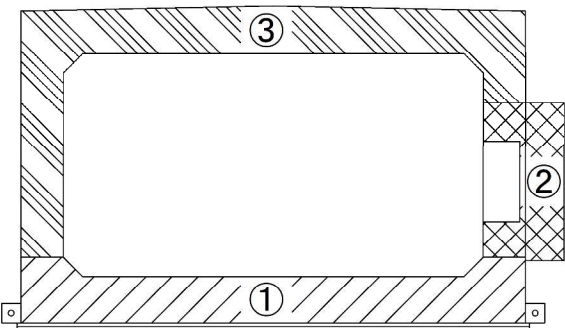
Table with project details: 磐越自動車道 黒森山トンネル工事, 図面の種類: スノーシエツド数量総括表, 設計者: 東洋コンサルタンツ株式会社, 監理者: 東日本建設建設株式会社, 建設者: 東日本建設建設株式会社.

正

スノーシエツド数量総括表

Table with columns for stationing (e.g., 191.9, 350.8), snow shed types (e.g., 191.9, 350.8), and quantities. Includes a summary row at the bottom.

打設回数概念図

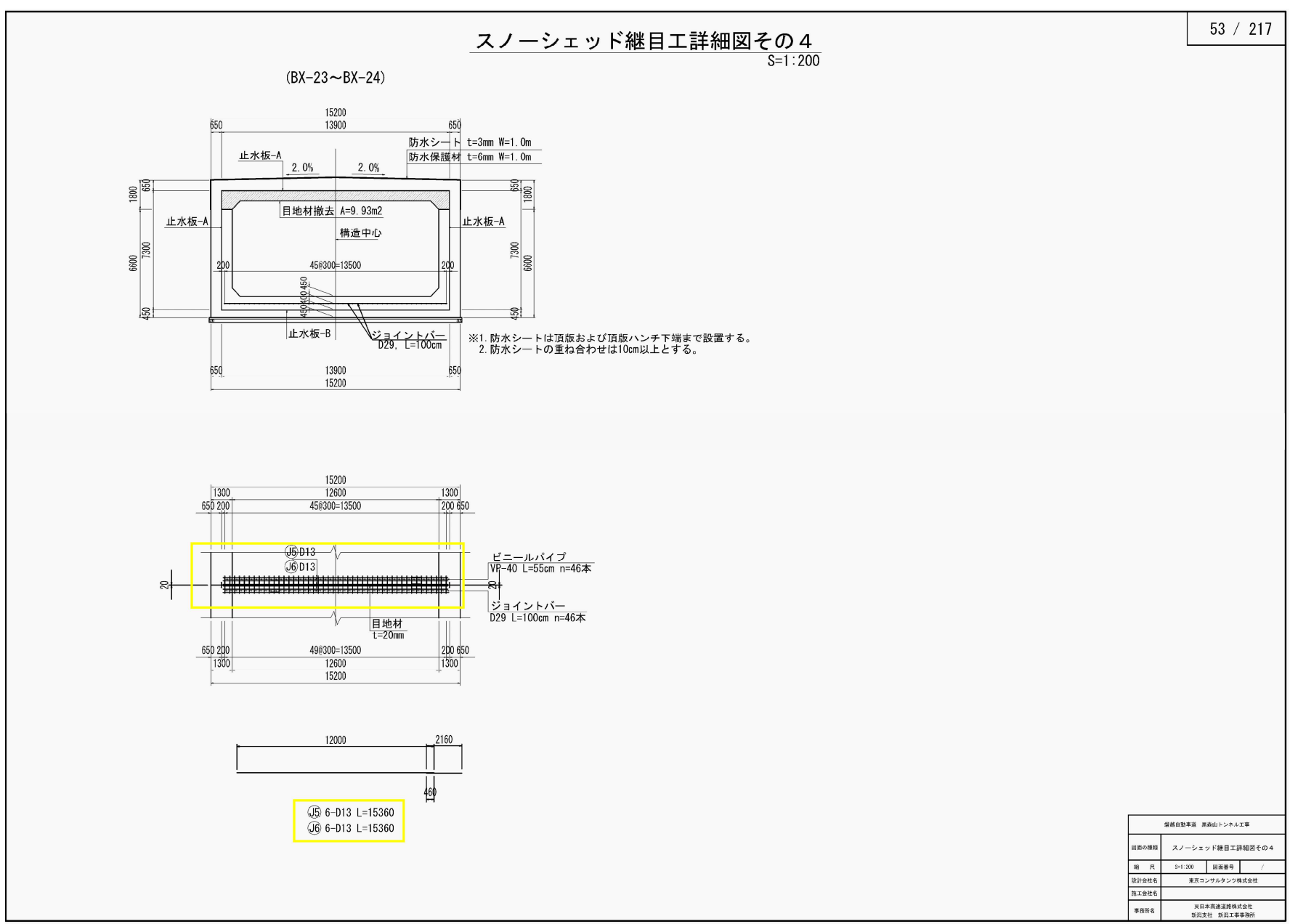


※は本型枠で打設を行う。 ②の設後移動型枠工を設置し残りの側壁、頂面を打設する。

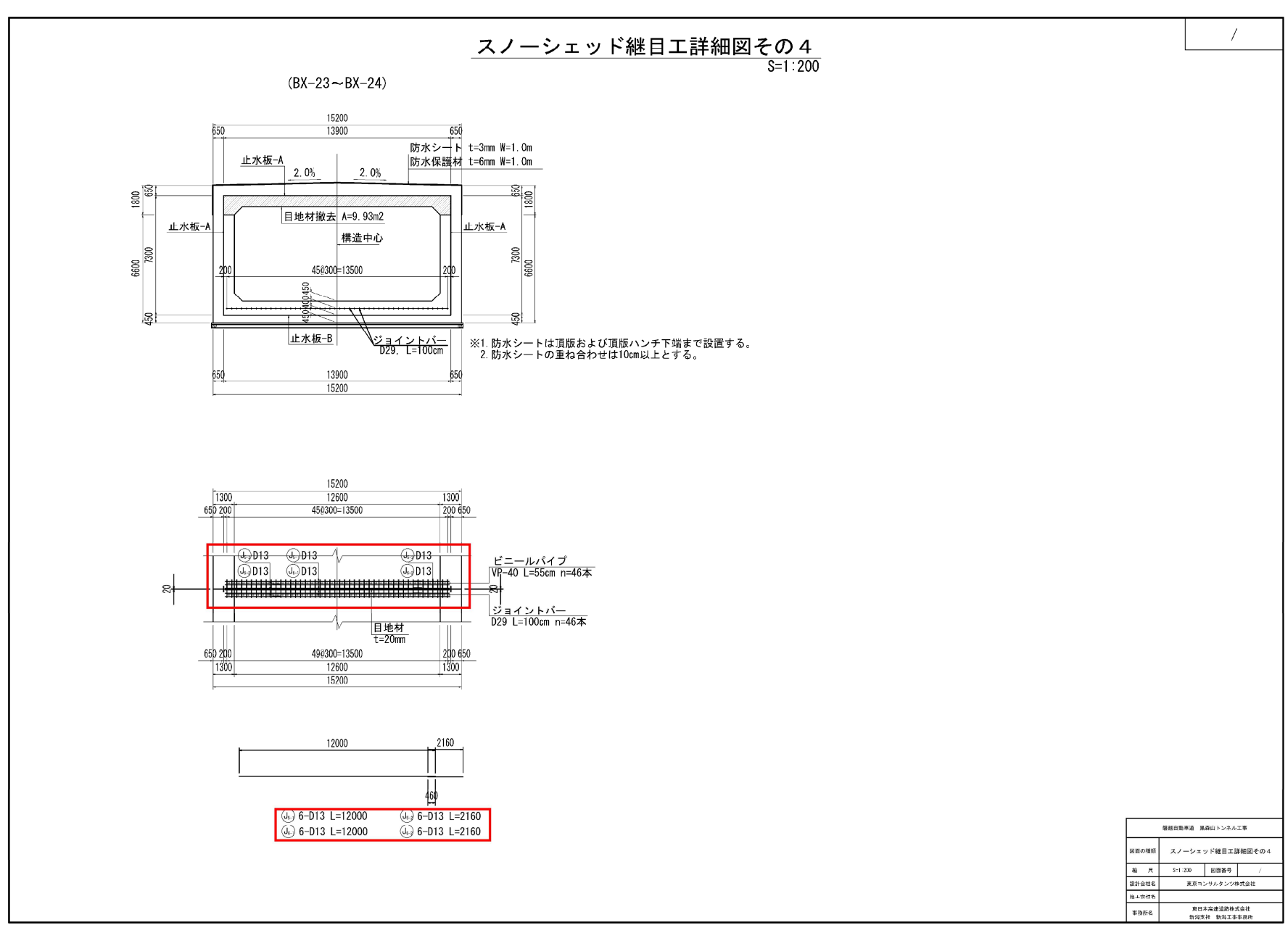
Table with project details: 磐越自動車道 黒森山トンネル工事, 図面の種類: スノーシエツド数量総括表, 設計者: 東洋コンサルタンツ株式会社, 監理者: 東日本建設建設株式会社, 建設者: 東日本建設建設株式会社.

設計図
 (函渠
 エ(ス
 ノーシ
 エツ
 ド)
 編
 53/217
 スノー
 シェツ
 ド継目
 工詳細
 図その
 4

誤



正



修正箇所 正誤区分

設計図
(函渠
工(ス
ノーシ
ェツ
ド)
編)
55/217
スノー
シェツ
ド非常
用設備
箱抜工
図その
2

スノーシェッド非常用設備箱抜工図その2

S=1:100
消火栓 箱抜工図

55 / 217

(監視員通路側)
A - A

(至新潟) (至福島)

※ ()はBX-23~BX-25での離れを示す。

測点	ブロック	縦断勾配(%)	PH(m)	車道面(m)
STA. 821+35.0	BX-1	-3.193	245.405	245.319
STA. 821+79.0	BX-4	-3.428	243.948	243.862
STA. 822+28.0	BX-8	-3.689	242.205	242.119
STA. 822+76.0	BX-12	-3.945	240.372	240.286
STA. 823+24.0	BX-16	-4.000	238.455	238.369
STA. 823+72.0	BX-20	-4.000	236.535	236.449
STA. 824+20.0	BX-24	-4.000	234.615	234.495

※ 箱抜き設置角度は原則路面と平行とするが、縦断勾配が3.5%を超える場合は水平垂直とする。

磐越自動車道 黒森山トンネル工事	
図面の種類	スノーシェッド非常用設備箱抜工図その2
縮尺	S=1:100
設計会社	東洋コンサルテック株式会社
施工会社	東洋コンサルテック株式会社
承認者	東洋コンサルテック株式会社 設計課長

正

スノーシェッド非常用設備箱抜工図その2

S=1:100
消火栓 箱抜工図

55 / 217

(監視員通路側)
A - A

(至新潟) (至福島)

※ ()はBX-23~BX-25での離れを示す。

測点	ブロック	縦断勾配(%)	PH(m)	車道面(m)
STA. 821+35.0	BX-1	-3.193	245.405	245.319
STA. 821+79.0	BX-4	-3.428	243.948	243.862
STA. 822+28.0	BX-8	-3.689	242.205	242.119
STA. 822+76.0	BX-12	-3.945	240.372	240.286
STA. 823+24.0	BX-16	-4.000	238.455	238.369
STA. 823+72.0	BX-20	-4.000	236.535	236.449
STA. 824+20.0	BX-24	-4.000	234.615	234.495

※ 箱抜き設置角度は原則路面と平行とするが、縦断勾配が3.5%を超える場合は水平垂直とする。

磐越自動車道 黒森山トンネル工事	
図面の種類	スノーシェッド非常用設備箱抜工図その2
縮尺	S=1:100
設計会社	東洋コンサルテック株式会社
施工会社	東洋コンサルテック株式会社
承認者	東洋コンサルテック株式会社 設計課長

修正箇所 正誤区分

設計図
(函渠
工(ス
ノーシ
ェッ
ド)
編)
56/217
スノー
シェッ
ド非常
用設備
箱抜工
図その
3

スノーシェッド非常用設備箱抜工図その3

S=1:100
通話型通報装置(非常電話)箱抜工図

56 / 217

誤

※ ()はBX-23~BX-25での離れを示す。

測点	ブロック	縦断勾配(%)	PH(m)	車道面(m)
STA. 822+38.0	BX-9	-3.743	241.833	241.747
STA. 824+25.0	BX-25	-4.000	234.415	234.295

※ 箱抜きは設置角度は原則路面と平行とするが、縦断勾配が3.5%を超える場合は水平垂直とする。

資料目録			
図面の種類	スノーシェッド非常用設備箱抜工図その3 (非常電話)		
縮尺	S=1:100	図面番号	/
設計会社名	東武コンサルテック株式会社		
施工会社名	東日本建設建設株式会社		
事務所名	建設部 加賀土木事務所		

設計図
(函渠
工(ス
ノーシ
ェッ
ド)
編)
56/217
スノー
シェッ
ド非常
用設備
箱抜工
図その
3

スノーシェッド非常用設備箱抜工図その3

S=1:100
通話型通報装置(非常電話)箱抜工図

56 / 217

正

※ ()はBX-23~BX-25での離れを示す。

測点	ブロック	縦断勾配(%)	PH(m)	車道面(m)
STA. 822+38.0	BX-9	-3.743	241.833	241.747
STA. 824+25.0	BX-25	-4.000	234.415	234.295

※ 箱抜きは設置角度は原則路面と平行とするが、縦断勾配が3.5%を超える場合は水平垂直とする。

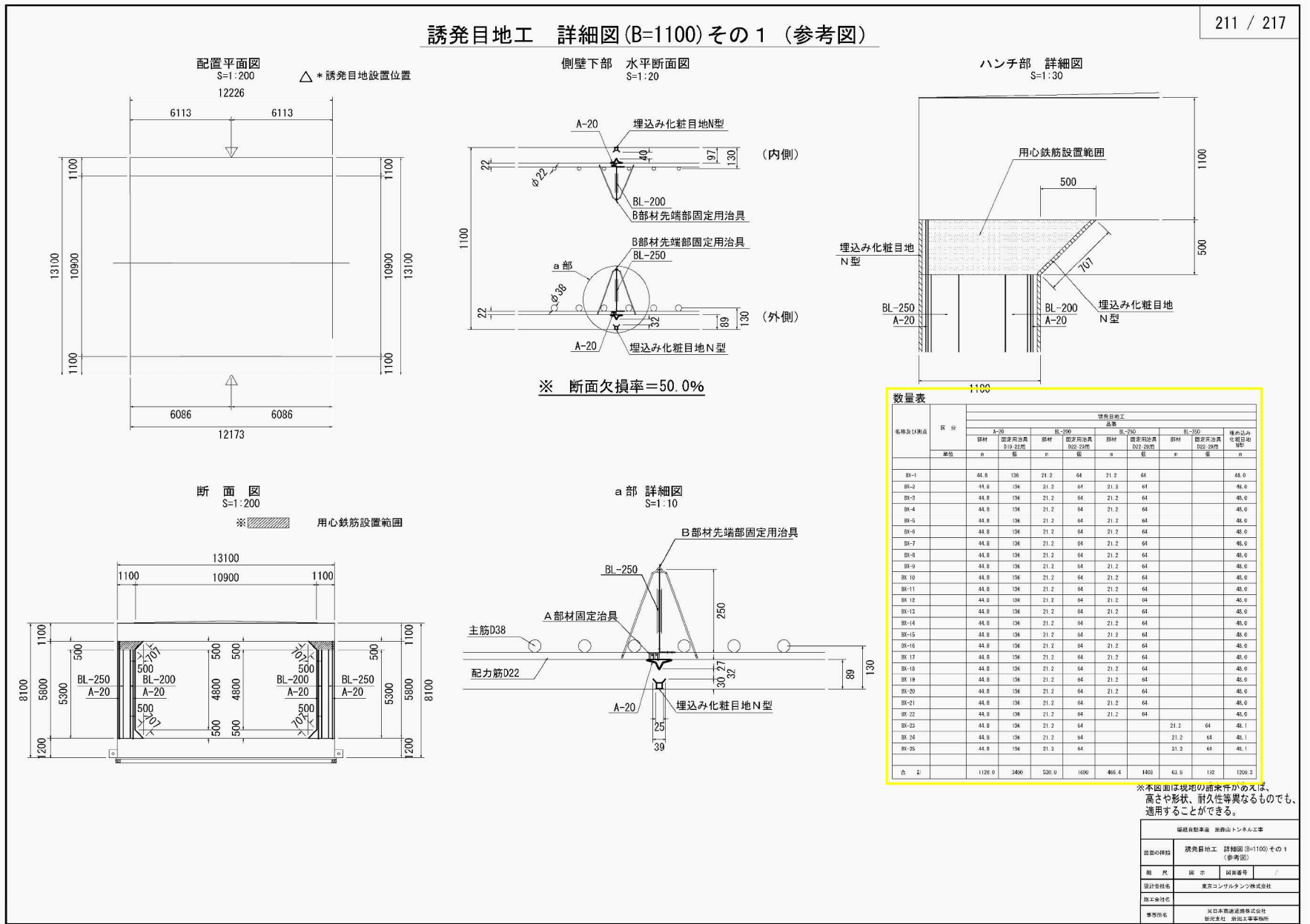
資料目録			
図面の種類	スノーシェッド非常用設備箱抜工図その3 (非常電話)		
縮尺	S=1:100	図面番号	/
設計会社名	東武コンサルテック株式会社		
施工会社名	東日本建設建設株式会社		
事務所名	建設部 加賀土木事務所		

修正箇所

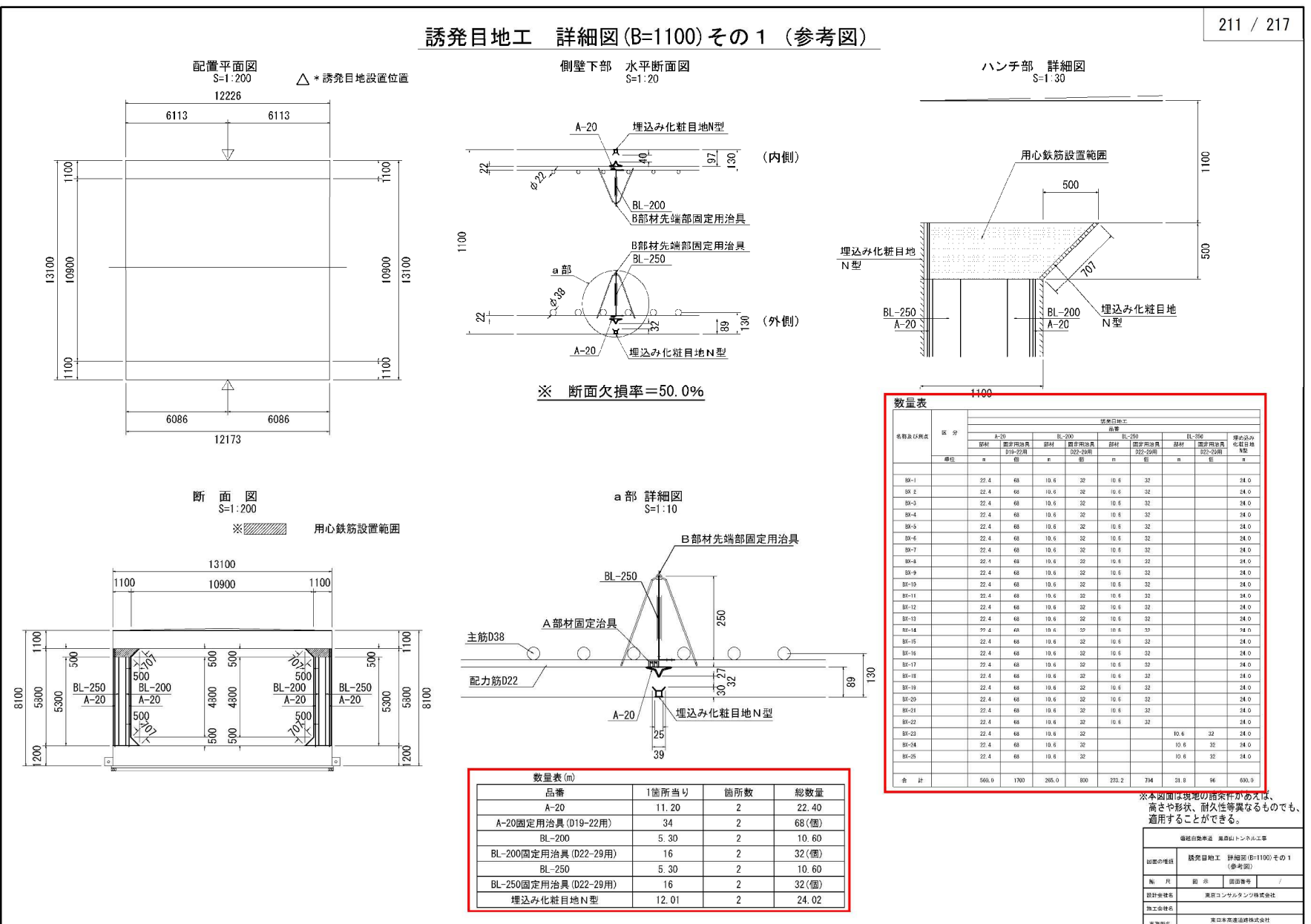
正誤区分

設計図
(函渠
工(ス
ノーシ
エツ
ド)
編)
211/21
7
誘発目
土工
詳細図
(B=110
0)その
1(参
考図)

誤



正



設計図
(函渠
工(ス
ノーシ
エツ
ド)
編
215/21
7
誘発目
土工
詳細図
(B=130
0)その
2(参
考図)

誤

215 / 217

誘発目土工 詳細図(B=1300)その2 (参考図)

側壁部 水平断面図 S=1:20

※ 断面欠損率=50%

a部 詳細図 S=1:10

※施工上のポイント

1. A部材固定治具とB L部材固定治具は配力筋に取付けて下さい。(鉄筋径によって使用する固定治具が違いますので注意して下さい。)
2. A部材固定治具とB L部材固定治具は3箇所/㎡程度設置して下さい。(設置間隔が広いとコンクリート打設中に外れる可能性があります。)
3. 埋込み化粧目地材は300mmピッチ程度で型枠に専用の無頭釘で打ち付けて下さい。(専用の無頭釘はケースに同梱されています。)
4. (釘穴に亀裂が発生し易いため端部から100mm以内には釘を打ちこまないで下さい。)
5. 止水性を重視する場合はA部材のみ底版に5cm埋め込んで下さい。
6. 500mm以下のカット品や固定治具が1箇所しか設置できない場合は必要に応じて結束線で固定して下さい。
7. 取付固定治具がやむを得ない事情で取り付かない場合は、結束線固定して下さい。
8. 用心鉄筋設置範囲は頂版下から50cmの範囲とし、鉄筋比0.6%以上となるように横筋増やして下さい。

※本図面は現地の諸条件があれば、高さや形状、耐久性等異なるものでも、適用することができる。

磐越自動車道 黒森山トンネル工事			
図面の項目	誘発目土工 詳細図(B=1300)その2 (参考図)	図面番号	/
設計会社名	東洋コンサルタンツ株式会社	監理会社名	
監理者名	東日本建設建設株式会社	監理者名	東日本建設建設株式会社

数量表 (m)	品番	1箇所当り	箇所数	総数量
A-20	11.21	4	44.84	
A-20固定用治具 (D19-22用)	34	4	136 (個)	
BL-200	5.31	4	21.24	
BL-200固定用治具 (D22-29用)	16	4	64 (個)	
BL-350	5.31	4	21.24	
BL-350固定用治具 (D22-29用)	16	4	64 (個)	
埋込み化粧目地N型	12.02	4	48.08	

正

215 / 217

誘発目土工 詳細図(B=1300)その2 (参考図)

側壁部 水平断面図 S=1:20

※ 断面欠損率=50%

a部 詳細図 S=1:10

※施工上のポイント

1. A部材固定治具とB L部材固定治具は配力筋に取付けて下さい。(鉄筋径によって使用する固定治具が違いますので注意して下さい。)
2. A部材固定治具とB L部材固定治具は3箇所/㎡程度設置して下さい。(設置間隔が広いとコンクリート打設中に外れる可能性があります。)
3. 埋込み化粧目地材は300mmピッチ程度で型枠に専用の無頭釘で打ち付けて下さい。(専用の無頭釘はケースに同梱されています。)
4. (釘穴に亀裂が発生し易いため端部から100mm以内には釘を打ちこまないで下さい。)
5. 止水性を重視する場合はA部材のみ底版に5cm埋め込んで下さい。
6. 500mm以下のカット品や固定治具が1箇所しか設置できない場合は必要に応じて結束線で固定して下さい。
7. 取付固定治具がやむを得ない事情で取り付かない場合は、結束線固定して下さい。
8. 用心鉄筋設置範囲は頂版下から50cmの範囲とし、鉄筋比0.6%以上となるように横筋増やして下さい。

※本図面は現地の諸条件があれば、高さや形状、耐久性等異なるものでも、適用することができる。

磐越自動車道 黒森山トンネル工事			
図面の項目	誘発目土工 詳細図(B=1300)その2 (参考図)	図面番号	/
設計会社名	東洋コンサルタンツ株式会社	監理会社名	
監理者名	東日本建設建設株式会社	監理者名	東日本建設建設株式会社

数量表 (m)	品番	1箇所当り	箇所数	総数量
A-20	11.21	2	22.42	
A-20固定用治具 (D19-22用)	34	2	68 (個)	
BL-200	5.31	2	10.62	
BL-200固定用治具 (D22-29用)	16	2	32 (個)	
BL-350	5.31	2	10.62	
BL-350固定用治具 (D22-29用)	16	2	32 (個)	
埋込み化粧目地N型	12.02	2	24.04	